知多地区　液化ガス貯蔵設備の容量等の公表（2025 年度）

１．貯蔵設備およびガス発生設備

	知多ＬＮＧ共同基地	知多エル・エヌ・ジー㈱ 知多ＬＮＧ基地	東邦ガス㈱ 知多緑浜工場
ＬＮＧタンク	1,560 千 kl		
ＬＮＧ気化器	能力：1,860t/h　　種類：オープンラック式		

２．利用可能な船舶の種類および船型

	モス型		メンブレン型
	従来型タンクカバー	連続型タンクカバー	
Ｌ１桟橋	17 万 m^3 級	18 万 m^3 級	17 万 m^3 級
Ｌ２桟橋	17 万 m^3 級	18 万 m^3 級	26 万 m^3 級

（注）船舶の受入可否の判断については、船陸整合性の確認を必要とし、確認結果により受け入れることができない場合があります。

３．液化ガスの種類および品質

総発熱量		40～45MJ/m^3N
成分	メタン	84mol%以上
	ブタン以上	2mol%以下
	ペンタン以上	0.1mol%以下
	窒素	1mol%以下
その他		固形またはその他の不純物及び異物を含まないこと

（注１）受け入れることができるＬＮＧの品質は、個別の利用条件やタンク運用実態によって異なるため、上記の数値は目安とします。

（注２）上記の数値を逸脱している場合、ＬＮＧの受入は既存基地利用者との協議などを行っていただく必要があります。

４．配船計画の策定時期の見通し

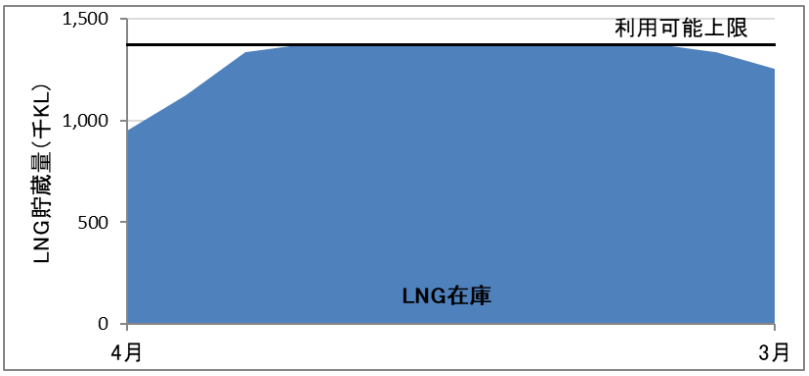
当年度の配船計画の策定スケジュールは概ね以下のとおりです。

・前年度７月頃　　：ＬＮＧ売主との間で配船協議を開始

・前年度１２月～３月頃　：ＬＮＧ売主との間で年間配船計画を策定

（注）上記はおおよその策定スケジュールであり、具体的な配船計画策定スケジュールは様々なＬＮＧプロジェクトによって異なります。

５．液化ガス貯蔵設備における液化ガスの貯蔵の余力の見通し



ルームレント方式では、一般的なＬＮＧ船１隻（約 120 千 kl）を受け入れられるだけの余力はありません。

ルームシェア方式の場合、年間 240 千 kl 程度を受け入れられる見込みです。

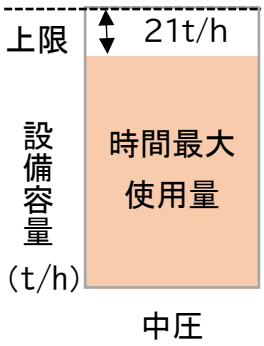
ただし、以下に示す条件での場合であり、それ以外の条件においてもご利用が可能となる場合があります。

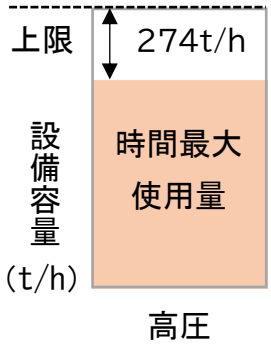
【利用可能量・受入量の算定条件】

・　2024 年度 7 月末時点での利用可能量・受入量であり、ＬＮＧ船の受入状況、都市ガス・電力の需要動向及び受入設備の工事等により変動します。

・　ルームシェア方式における利用可能受入量は、入船１回あたり 120 千 kl を年度終了後にＬＮＧ在庫が 0 となるように、6 ヵ月の間一定の割合で払い出した場合の結果となります。また、高在庫が見込まれる期間は、当社等からＬＮＧ貸借を行い、高在庫期間後にＬＮＧを受け入れ返却した場合の結果となります。

６．ガス発生設備におけるガスの製造の余力の見通し





（注）上図は、ＬＮＧ気化設備の時間最大使用量をイメージで表したものです。
　なお、電力（ガス）の需要動向、発電所トラブル、予定外の設備工事等により余力が供出できない場合があります。

以　上